

# 平成23年度サービス規律確保のための研修

三原市立三原小学校

本校では、不祥事根絶を目指し、「教職員による不祥事の根絶」等の研修資料を活用し毎月サービス規律確保のための研修を行っています。公教育を担う教職員であることを自覚し、研修の事例に対して当事者意識をもって取り組んでいます。

## ○ 研修の経過

研修月日	研修内容	担当者
5月23日(月)	体罰（ロールプレイ）	教頭
5月27日(金)	交通事故時の初期対応	教務主任
6月24日(金)	個人情報の紛失	研究主任
7月27日(水)	体罰その後の保護者対応（ロールプレイ）	教頭
8月25日(木)	交通事故の対応（道路交通法）	教頭
9月30日(金)	欠勤	保健主事
10月28日(金)	著作権	教務副主任
11月28日(月)	情報管理	生徒指導担当

## ○ ロールプレイによる研修例 【H24. 7. 27(水)】

教職員の非違行為の具体的な場面を想定し、被害者や加害者の立場で感じたり考えたりすることを通して、当事者意識をもち規範意識をさらに高めるためにロールプレイ研修を

### 【登場人物】

担任男性教諭 A  
男子児童 B C  
Bの母親 D  
校長 E

### 【場面】

小学校6年生の教室。担任Aは、帰りの会で私語をしている児童B、Cに対し強い口調で叱責をするがBだけは、繰り返し注意をされてもふてくされた態度をとり口答えをした。

担任Aは、感情的になり、右平手でBの左ほほをたたいた。Bは鼻血を出したため担任Aは、Bを一人で保健室に行かせた。

その日の夕方Bの母親Dが校長Eを訪ねてきて担任AがBに対して行った行為について抗議をする。



演者は、その役のイメージをもって、体験することによって気持ちを理解していきます。



観客はドラマを観察し、感じたり考えたりしたことを伝え、話し合いを進めます。



【シェアリング】ドラマを振り返り、演者・観客はそれぞれに感じたこと・考えたことを伝え合いながら、全員が事案を自分こととしてとらえていきます。



【まとめ】この体験的・実践的な研修を通して「自分にも起こる」「自校でも起こる」という意識で日々取組もうということを確認しました。

#### 【教職員の意見・感想 等】

- 児童に対して苛立ち、叱責を繰り返すのは不適切である。どんな事案に対しても、感情的にならず冷静に対応していきたい。
- 万一、児童に対して不適切な行為（たたく 等）をした場合、管理職への報告・連絡・相談を迅速に行い、対応の仕方については、校内体制で話し合い行動化しなければならない。
- 保護者への連絡も迅速に行い、対面して説明したり必要に応じて謝罪したりする必要がある。（ケースによる。）
- 保護者への対応も学校体制として取組む。  
どのように対応するかということを共通認識に立ち、誠意をもって話をしていく。
- 体罰は絶対にあってはならない。未然に防がなければならない。  
そのためには、いつも学級・学年をオープンにして、相談しやすい職場・いつでも話せる人間関係をつくっていきたい。